



「社会に開かれた
新学習指導要領
教育課程」

町田市教育プラン
2019-2023

<学校教育目標>
 ◎かしこく→確かな知識【重点目標】 ○やさしく→思いやりの心 ○たくましく→健やかな体

<目指す学校像>
 ・「行きたい学校」(子供教職員) ・「行かせたい学校」(保護者) ・「行ってみたい学校」(地域住民)

<目指す児童像>

- ・自分の考えをもち、深め、広げる子
- ・自分を大切にし、友達にも優しくできる子
- ・頑張りのきく心と体をもつ子

<目指す図師の教師像>

- ・子供への深い愛情をもつ
- ・保護者、地域とともに子供を育てる
- ・切磋琢磨しながら、教師としての力を向上させる
- ・教育公務員としての自覚をもつ
- ・支え合い、高め合う「チーム図師」

PLAN (計画)

<学校経営計画・図師小学校コミュニティスクール>

- ・保護者、地域、学校関係者による学校運営協議委員とともに「目指す学校像、児童像、教師像」を共有する。
- ・中、短期的目標、具体的な方策を立て、取組、成果指標に対する評価をもとに改善を図る。

<確かな知識>

- ◆基礎・基本を大切にする授業
 - ・子供が「できた」「わかった」と実感、体感できる授業実践をする。
 - ・「国語モジュール」「計算タイム」での漢字・計算の反復学習で基礎・基本の定着を図る。
 - ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりをする。
 - ・家庭学習の定着を図る。(学年×10)
- ◆表現力の育成
 - ・主体的、対話的な授業構築をする。
 - ・校内研究で国語科「書くこと」に取り組み、表現力を養う。
 - ・ALT、MEPSと授業づくりをする。
- ◆効果的なICT機器の活用
 - ・1人1台のタブレットを活用し学びの活性化、個別最適化を図る。
 - ・実物投影機、大型テレビを活用する。

<思いやりの心>

- ◆豊かな心の育成
 - ・「考える、議論する道徳」の指導の工夫をする。
 - ・「読書週間、家庭読書」を推進する。
- ◆望ましい関係づくり
 - ・「たてわり・児童会活動」において自主性をもたせる。
 - ・地域、健全育成行事へ参加する。
 - ・「生活指導情報共有会」「ケース会議」で共通理解と解決策の検討をする。
 - ・特別支援教育校内委員会を強化する。
- ◆規範意識の育成
 - ・「挨拶、言葉遣い」を大切にする。
 - ・「チャイム着席」「はい・たつ・です」「図師小、家庭 SNS ルール」を徹底する。

<健やかな体>

- ◆基本的生活習慣の確立
 - ・学級指導、養護教諭による保健指導
 - ・学校保健委員会での啓発をする。
 - ・子ども家庭支援センター、児童相談所等関係諸機関との連携を図る。
- ◆健康な体づくり
 - ・「運動会」「運動週間」等、体育的行事を充実させる。
 - ・体力測定結果に基づき体力向上計画を立てる。
 - ・食育、給食指導食による望ましい食生活を形成する。
- ◆安全な環境づくり
 - ・交通事故、熱中症の未然防止をする。
 - ・登下校時や不審者、犯罪に対する安全意識を身に付けさせる。
 - ・学校内の整備や美化に努め、清潔な環境を整える。

CHECK (評価)

<児童アンケートの数値目標>

- ・「国語、算数がよくわかる」 90% (R4年度 90%→) ・「宿題をしている」 90% (R4年度 83%↘)
- ・「読書をしている」 80% (R4年度 77%→) ・「きまりを守っている」 90% (R4年度 86%↘)

<保護者アンケートの数値目標>

- ・「基礎・基本が身についている」 90% (R4年度 90%→) ・「家庭学習をしている」 80% (R4年度 76%↘)
- ・「すすんで読書をしている」 70% (R4年度 56%↘) ・「ネットマナーが身についている」 80% (R4年度 69%↘)
- ・「いじめ防止をしている」 80% ((R4年度 71%↘) ・「挨拶をしている」 90% ((R4年度 85%↘)

学校経営計画に対する自己評価・学校関係者評価

ACTION (改善)

- ・「現状維持は後退である」PDCA サイクルの中で、進化させていく。
- ・注意しなければならないことは、新しいことをやるばかりが変化ではないということ。
- ・「止めること、減らすこと」も変化。本当に必要なものは何か、必要か必要でないかを吟味する。